

# 商 況

販賣旬報 第159號 昭和6年4月22日  
製鐵所販賣部

## 鋼材統制機關の完成

- 1) 昭和6年3月、中型山形鋼共販組合の成立を最後として日本の鋼材界は大小十個の統制機關の完成を告げた。其内容の概要は旬報の前號附録に示す通りである。
- 2) 此等統制機關は生産統制と販賣統制の二つに分類される。

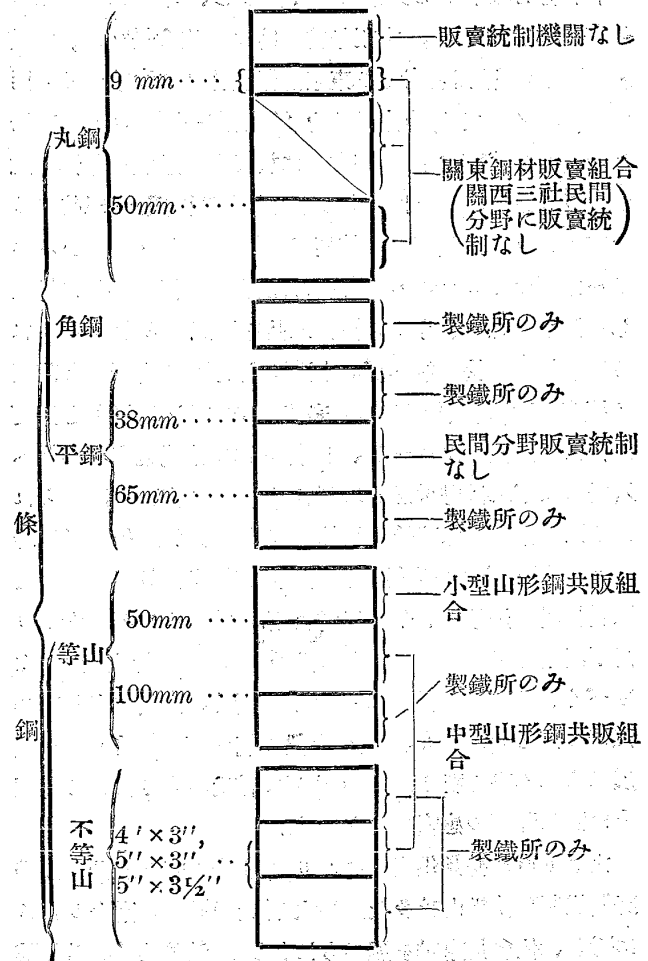
其内條鋼分野協定は元來は日本の鐵鋼自給自足を目標に官民の義務數量を規定したものである。當時輸入高は80萬噸を超え内地生産者には何等の統制もなく徒に外注品の蹂躪に委したが斯くては我國の鐵鋼獨立の爲め甚だ不利なるを思ひ、當所を初め主要製鐵會社を糾合して官民の分野を決定し、義務數量を定めて外品驅逐に精進することゝなつた、それが大正15年である。此分野より丸鋼に就き民間六社は協調して其の分配をなすべく數次の協議を遂げたが、中々に一致せず已むを得ず、關東三社はせめても共同販賣により歩調を一致せしめんとして昭和2年に生れたのが關東鋼材販賣組合である。

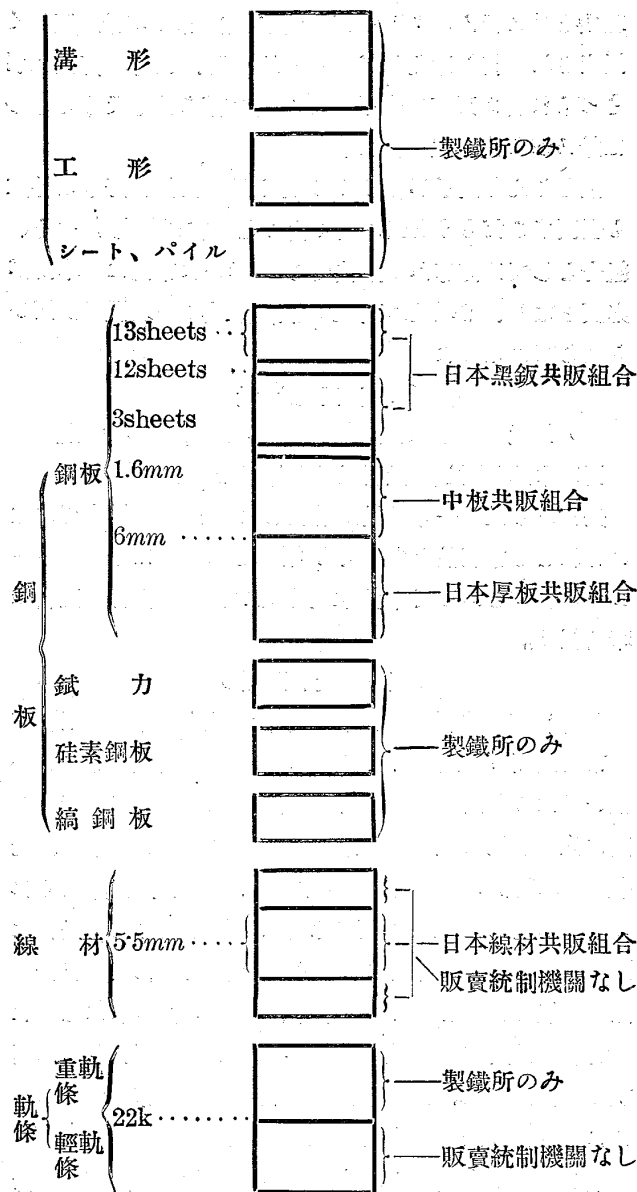
3) 然るに昭和3年に於て突如として所謂鐵鋼界の黄金時代を出現した爲め各メーカーは殆んど猪突的に各其生産數量の増加を計つた、禍根は已に此時代に育まれて居つたのである、廳て來りし凋落の秋の衰れは昭和4年、5年に引き續く受難時代に充分に眺められた、需要の激減と相俟つて遂に義務數量は何時の間にか影を没して生産制限の聲と代つた、此難關に處すべく昭和4年に構成されたのが關東、關西民間六社の鋼材聯合會である、然るに月を重ねる年を経るに従つて苦難は愈々加はる許りて、各製造家共益々前途の不安に脅かされ、遂に協調に依るにあらざれば其生命をも絶たるゝを覺るに及び、昭和5年日本黒板共販組合の成立を初めとして僅に半歳間に七つの共販組合の構成を見た、之を年次順に掲記して見ると、

年	月	會名	數
大正15年	6月	條鋼分野協定會	1
昭和2年	11月	關東鋼材販賣組合	1
同 3年	—	—	ナシ
同 4年	4月	鋼材聯合會	1

同 5年	8月	日本黒板共販組合	} 3
	10月	日本線材共販組合	
	10月	中板共販組合	
同 6年	2月	日本厚板共販組合	} 4 外に範圍擴張2
	3月	日本黒板共販組合厚物部	
	3月	中板共販組合の取扱範圍を16mm—60mmに擴張す	
	3月	關東鋼材販賣組合へ製鐵所分野丸鋼の販賣を委託す	
	3月	小型山形鋼共販組合	
	3月	中型山形鋼共販組合	

斯くして主要鋼材の販賣統制の完成を見たのである、此表で面白い事實は好況にありし昭和3年に片影だに無く不況の深刻化に連れ昭和4年に1、昭和5年に3、昭和6年に4と逐次其數を増加した事である。





4) 上圖は主要鋼材に對する統制の範圍を示したものである即ち統制の及ばぬものは殆んどなく將來の問題は此分離して居る共販を如何に統一すべきかにあるのであるまいか。

5) 共同販賣の目的は勿論メーカーの自衛にあるが一面コンシューマーの利益も考慮に入れなければならぬ、特に我國の如き狭少の市場では、動もすれば僅かの好調も兎角輸入を刺戟して自他共に苦難を嘗めなければならぬ、之に對する恩威の使い分けこそ共販の重大なる任務であらねばならぬ、資本的基礎を持たぬ現時の共販組合に於ては特に然りである。

**重軌條價格に就て** 4月8日製鐵所俱樂部に於て三軌會開催、現況に據れば是と言ふて取立つべき材料もなく一般賣値据置のことに決定散會した。

記  
20 哩以下 1 佛噸に付 金 96 圓替  
20 哩 金 95 圓替

**5-6 月渡先物協議會** 4月9日製鐵所本事務所に於て5-6月積先物協議會を開催せられたが大部分の製品は共販成立に據て一段落、残るは管大形製品と當所分野に屬するもの丈、一般が眞劍にならぬも宜なるかな會合者は4社側と2-3の間屋丈にて此の上もなく閑散、愈々本論に入れれば買手側は据置主張、其理由は入電多少安なるも在庫品の手當も相當あり市況も底入れて幾分曙光も認めらるゝからとのことなるも立場を異にする關係上總て見解も違ふが當所は外注値段に順應して2圓引を提議し其後も2-3回會合したるも結局纏らず東京に持越し再協議することゝなつた。

**5-6 月渡先物協議會**

品種\區分	入電沖着	河岸着値段 (爲替%-%)	希望	決定	備考
角鋼ベース	4-11-6	65.13			前月据置
平鋼(本所分野)	4-11-6	65.13			
大型山形鋼	4-10-0	64.41			
工形鋼	4-4-6	61.74			
溝形鋼(吋寸法)	4-18-0	68.28			
〃(耗寸法)	4-6-0	62.47			
丸鋼ベース	4-11-6	65.13			
丸鋼徑 9mm	4-15-3	66.95			
中小型山形鋼	4-11-0	64.89			
鋼板 6mm以上	5-2-3	70.34			
〃 4.5mm	5-4-0	71.19			
〃 3.2mm	5-4-9	71.55			
〃 2.3mm	5-11-0	79.58			
〃 1.6mm	5-14-6	81.28			
線材 B. W. G. No. 5	5-18-0	69.48			
黒薄鋼板	11-2-6	141.99			
鋼力板 170 lbs					
〃 100 lbs					

**三エス會**

月日、場所 4月10日 八幡本所  
出席者 三井、三菱、日立、高島屋、製鐵所  
議事

**定期繼續の件**

近來一般電機界の極度の不振に基因し硅素鋼板の需要激減し各社共從來通りの一定數量の繼續契約履行の見込立たず、僅かに本所のストックの消化方法を協議したるに過ぎず値段其他に就きては本所の提案に對し回答保留の儘散會した、それにしても今迄年額1萬噸以上の消費力を認められて居た該品が如何に不況とは云へそれ程迄需要が減退するものか、恐らく今迄に於ける思惑や色々の原因からの滞貨が主要なものであらうが、現況として700 噸位のストックを半年経たなければ消化出来ぬとは驚異に値するものである。

**鐵力板賣出方法決定** 鐵力板の賣出に就ては本年2月迄は先物賣出なく、3月に於て1ヶ月先物の4、5月積を賣出したが4月16日の協議會に於て將來は次の方法で賣出すことに決定した。

1. 毎月3日を定例先物賣出日とす、3日が休日其他の事情ある時は其前日とす、以下之に準ず、尙開催地は其都度決定のこと。

2. 先物賣出は1級品と2級品を各別に賣出すものとす、3級品は入札に附するものとす。

3. 先物賣出は2ヶ月先物とす、例之、5月には7月積を賣出すが如し。

4. 代金支拂方法は次記に據る。

- 1日より10日迄に積出のものは 20日拂
- 11日より20日迄に積出のものは 月末拂
- 21日より月末迄に積出のものは 翌月10日拂以上

5、6月。6、7月積鐵力板先物賣出 別項記載の賣出方法に基き4月16日當所東京出張所に於て、首題の先物賣出をなした。先物は2ヶ月先物であるが本月は初めての事で、5-6月積も同時に協議した。

1. 賣出 噸 數

- 1. 5、6月積 1級品 1,000噸
- 1. 6、7月積 1級品 1,000噸 2級品 300噸

2. 割 合

100封度 3割 170封度 7割 大判 7割 小判 3割

3. 決定價格(5、6月、6、7月積)

輸入價格及内地市場相場を參酌し次記の通り決定。

100封度 1級品 1函 8圓90錢 | 170封度 1級品 1函 16圓60錢  
同 2級品 同 8圓70錢 | 同 2級品 同 16圓30錢

4. 締 切

4月21日

5. 申 出 數 量

隨意 但し本日賣出のものに限り 超過數量は引受けざるものとす。

**線材共販理事會—5月積賣出し—** 曰く「運賃値下げ」曰く「世界的不景氣」等々の不愉快な原因に災されて今日此の頃の國際鋼材市況の沓えない事實に夥しい。

然しながら吾國市況に於ては概して鋼材相場底入れの觀を呈し、年來の不安も、諸々の組合統制完成以來、人氣漸く落附き始め、加へて所謂舶來物の影が薄くなるに連れ、隨所に品掠れと云ふ面白い現象が起り線材市況の如きは本國安を後目にかけて輸入値段を上放れる事2、3圓と云ふ狀況、實際結構至極な事である。

4月13日大阪電氣俱樂部で開かれた組合及五社側の5月積線材協議會は例に依り「据置き」或ひは「本國安を

理由とするほんのちよつぱり値下げ」等々の希望賑しく提出されて花を添えたが畢竟内地針金、釘等の好況に引きづられまあ天下は泰平と云ふ處に落ち附きそうな形勢は始めから充分窺はれた。

然しこんな調子がもう1ヶ月も續けば何れ好きな外註も殺到するだらうと云ふ明々白々な現在に善處すべく、組合としては何等かの方法でこの浮いた市況に一本釘が必要となり、かくして今月の販賣方法は一新機軸が用ひられる事になつた。

1. 賣 出 數 量

5月積 8,000噸 6月積 8,000噸

同時申込を要し同量引受けを條件とす。

先月から見て一寸數量が増加した。永久の増産ではないけれども市販品を少しでも増加させるのは今日のメーカーの義務とあつて積遅れをしない限度に組合の至善の奉公振り。

1. 賣出値段、噸當り

5月積 金74圓(2圓上げ) 6月積 金71圓(3圓下げ)

市況最高78圓位までは唱へられて居る由、されど手堅い處は75圓處が至極見當の相場とあつて來月積は74圓に決定。然し外註大陸物6-0-0換算70圓64錢(米物30弗71.93)を見せられては1ヶ月先が案ぜられると云ふ事になり思ひ切りよく71圓と出され、是れに附加して前記の同時引受けの條件が提出されて今日此の際の浮氣はまあまあと云ふ方法が講ぜられる事になつた

尙此の外東京、名古屋揚のエキストラ問題、割當に關する五社側希望、神戸製鋼物の荷渡し促進等が協議せられたが何れも決定には至らなかつた。

**日本線材共販組合5月積の申込と引受** 16日締切を見る。

五社申込總計2萬1,000噸、8,000噸の賣出に對する申込とはちと受取り難い位だ。組合の最大生産量も半ば公知の事實であつて見ればこの數字も市況稍可と云ふ一つのシンボルとでも見るより解決の方法があるまい。

内譯\揚地

	申 込			引 受				
	大阪	東京	名古屋	計	大阪	東京	名古屋	計
製鐵所	7,645	5,250	160	13,055	2,640	2,000	160	4,800
製鋼所	8,160	185	—	8,345	3,500	—	—	3,500
計	15,806	5,435	160	21,400	6,140	2,000	160	8,300

こんな數字を見て、少しでもよい氣にならうものかきあ大變、賣出中止或は積止め、或はメーカーの減産要望等が續出して來て厭な思ひをする事だらう。とは云ふもの、過ぎ去つた1年間のこし方が思ひ出されて感慨無量

何れにせよ、今月の割當に附ては色々の點から充分御満足の出来る方法が取り得なかつた事を組合として吳々も御詫びしなければなるまい。

**厚板共販理事會後報** 線材協議會のあつた同日午前同所に於て第四回の厚板共販理事會が開かれた。特に製鐵所舊契約引取り問題に關連して四社側より出席方許されたしとの希望が納れられて、四社列席のもとに。かく書くと大變重々しく聞えるが、その實、四社側の出席の主なる理由の一つはそろそろ市中シャー側の耳附板在庫減少の折柄、こゝらで一つ耳板の先物でも貰ひ「シャーよ何處に行く」と云はれて居る組合値段の緩和其の他の解決策を懇願し様と云ふ腹らしかつた。席上、製鐵所當局より明白に「耳附板舊契約引取り問題は斷じて組合存續に迷惑とならない限度に於て善處する」と云ふ言質を得て組合の將來は是れ又天下泰平と云ふ折紙が附けられる事になり、一度は觸れなければならぬ厭な問題、雨降つて地堅まるの結果を得て實際四方八方欣快に堪えない。議事の主なるものを摘出すると次の通り。

1. 値段は相變らず最低値段で従つて暗相場と云ふ事になつた。然し耳附以外何れも前月より3圓方値上げとなり段々市中も是れに追隨する様になつた由早く手堅い相場が出される様になつて欲しい。

1. 數量に限定なし、隨時組合に於て受注割當は従前通り。

1. 耳附板先物賣出

四社側希望もあり、組合内には多少の意見もあつたが遂に次の通り決定。

數量 總計 4,000噸 一値段 1本で 噸57圓也  
寸法揚地其他全部從來製鐵所が行つて來た耳板定期と同様條件である。けだし暫定的方法としては止むを得ない。

**黑板共販理事會**—5月積賣出し— 組合の理事會は今月は大阪ばかりで、本賣出に關する理事會及協議會も亦14日電氣俱樂部で華々しく開催された。線材市況に、もう一つ輪をかけて黑板の今日此の頃の狂奔振りにはちと目に餘る位である。何しろ、鍍金屋さんの何年振りかに損をしない商賣が出来たと云ふ内々の話をちらほら耳にして、外註安も何のその組合側の鼻息も又頗るすさまじい時は櫻咲く花の候一年の内先月、今月が需要期とは黑板も中々風流を解する。

嵐の如き先月の人氣をそつくりそのまゝ踐襲し彌が上にも人氣はあふられるばかり、然し聖者の戒めにもある通り兎角歡樂極まれば哀愁を生ずる例え、此處等が買ふ者も賣る者も自重の秋、今月の値段は少し調子に乗り過

ぎはしなかつたか。議事の主なるものを拾へば、

1. 賣出數量「13枚もの」

内地向總計	13,000噸	輸出向總計	3,000噸
内 譯		内 譯	
川 崎	7,580噸	川 崎	1,770噸
製 鐵	2,850噸	製 鐵	700噸
中 山	1,325噸	中 山	300噸
德 山	970噸	德 山	170噸
日 鋼	325噸	日 鋼	60噸

内 850 噸は先月先物として賣却したるものを含む。

「12枚もの以下の厚物」

A 3,100噸 B 1,630噸 C 1,240噸

の内地賣に限り輸出は當分見合せる事になつた。

1. 販賣値段(噸當り單價)

内地向値段

13枚物 36判	金 153圓	9枚物 同	金 127圓
30吋×6呎物	金 151圓	8枚物 同	金 125圓
7呎及8呎	金 160圓	7枚物 同	金 122圓
物何れも		6枚物 同	金 117圓
12枚物 36判	金 144圓	5枚物 同	金 106圓
11枚物 同	金 138圓	4枚物 同	金 103圓
10枚物 同	金 133圓	3枚物 同	金 97圓

輸出向値段

13枚物 36判	金 118圓50錢	7呎及8呎	金 123圓
30吋 6呎物	金 116圓	物何れも	

各所社物格差は從來通り

値段に關しては珍らしく四社より懸値なしとの前口上附きて値上希望案が持ち出された。市中品薄の關係より猪突的暴騰振りを見せた事もあつたが、手堅い處は白板で1枚70錢見當と云はれる、して見れば本月は共販の威力を餘りにも完全に發揮したとも云はれようが、然し組合値段も漸く成立當時に復し外註安の此の際、實際結構な事である。向再三の市中側希望が納れられ5月積より製鐵所が浪板を受註する事になつた。浪板輸入全盛の際外註防遏の爲にも喜ばしい事である。

然し外註は獨り獨逸物に限らず愈々英板さえも本式のダンピング調子を帯びるに至つた。先月の臨時理事會にも論ぜられた様に此の際組合としてのみでなく、日本の黑板消費者を代表する四社側に於ても眞劍な態度で外註對策を講ずるの要ありとされて18日に又々臨時理事會が共同で開催される事になつた。

内地値段がかく高く而も輸出値段がかく低く決定された關係上、組合製品を輸出し外註物を内地に入れて其の間の、差格を利得すると云ふ巧妙な儲け法が出来のみならず輸出物を内地に振り換えると云ふ危險にも曝される事になるので組合は、遂に内地振替えの場合は内地値段との差格に5圓の罰金を取ると云ふ皮肉な方法を取らざるを得なくなつた。この點組合の忍び難い犠牲的輸出の意味をもつとよく理解される様吳々も希望して止まな

い。

備考 外註値段次の如し。

13枚物米ゲージ	31	11-0-3	145.14(139.35)
12枚物	30	10-19-6	138.38
11枚物	29	10-12-0	135.26
10枚物	28	10-7-0	132.01
9枚物	27	9-3-3	125.65
8枚物	26	8-9-6	119.03
7枚物	25	8-9-6	119.03
6枚物	24	8-6-9	117.81
5枚物	22	8-1-6	105.90
4枚物	20	7-16-0	103.39
3枚物	18	7-1-6	95.89

黑板共販理事會—5月積締切—

日時 6年4月18日  
場所 大阪電気俱樂部  
出席者 川崎、日鋼、中山、徳山、製鐵

議事

5月積の薄物申込状況にて締切割當下表の如し。

内地向

	賣出噸數	申込噸數	引受噸數
川崎	7,580	21,945	7,580
製鐵	2,800	7,910	3,500
中山	1,325	1,325	1,325
徳山	970	1,040	970
日鋼	325	340	340
計	13,000	32,560	13,715

輸出向

川崎	1,770	4,000	1,770(内既契約880)
製鐵	700	1,510	1,000(内既契約100)
中山	300	300	300
徳山	170	270	170
日鋼	60	60	60
計	3,000	6,140	3,300(内既契約980)

輸出概況—昭和6年3月 輸出數量は漸増して今月は需要期を控えて4,700噸を契約し、年初以來の輸出契約數量は早くも1萬噸を凌駕した。今月の主なる契約は支那膠濟鐵路の用材として1,000噸餘の車輛材と100噸餘の車軸、上海の内外綿花の第2回分建築材料廣東、香港、バンコック方面に對する大量の鐵筋材、大連へ送つた大日本鹽業向け輕軌條等が顯著なものである。

向先別	3月契約高	本年累計
大連方面	566噸	2,282
天津、青島方面	1,838	2,233
上海、漢口方面	1,077	1,079
香港、廣東方面	507	3,437
新嘉坡、マニラ方面	656	1,808
浦鹽	36	36
計	4,680	10,875

黑板及び線材の輸入 3月末より4月に掛けて、黑板と線材は躍騰氣勢を續けて居るが、別表速報の3港中旬までの輸入數量に現はれた通り兩者の輸入は4月に入つて特に目立って減少の傾向がある。

黑板は未だ500噸に満たず、特に横濱の如きは4月に

入つて1噸の輸入も見ない有様である。

線材も益々減少して中旬までで1,600噸、これも横濱が僅に250噸と云ふ稀薄な數量である。

扱て今日市場に於ける兩者の好調と此數字を眺めて誰しも氣に掛けるは此反動である。相當の外注の出來た噂も耳に入る、また今頃出來つゝあるものもあらう、それが入る頃は丁度梅雨の不需要期と内地品の順潮な荷捌きとが重なつて定石通り悲鳴を擧げるであらう。

東西市況—活氣あり 花見月と稱へられて例年4月は香ばしからぬものとされて居るが去年が特に悪かつた爲か今年は比較的荷動きもある様に傳へられ、地方からも弗々ながらも注文も入ると云はれて一般に稍活氣を帯びて居る様に見られる、只大型物だけは此空氣に添はず沈靜を守つて動かない。

本年に入つてからは市場一般に轉換の氣運を感じ、特に近來は損してまで商賣するのは考へものだと思ふ様になり、従つて相場も底力が付いて來たが、昭和3年の浮調子に懲りて一歩一歩地を堅めると云ふて堅實味が出て來た様に感じられるのは何よりである、只薄板や線材が稍調子に乗り過ぎて居るかに感ぜられ此反動を氣遣つて居る筋もある。

東京市況

丸鋼 6mmは依然供給薄の爲め昂騰し、伸鐵物も材料薄で間に合はぬ爲め高値を呼んで居る、9mmは氣配冴えず今の處は可もなく不可もなしと云ふ状態である、元來此9mmは昭和3年の暴騰が頭にコピリ付いて何となく波瀾氣構へてあるが已に御時世が變つて居りはせまいか。12mmも共販の販賣數量が少ないと云ふのが材料になつて堅調を辿りベース物も前旬に引き續き底堅く安値の聲市場に其跡を經つた形である、50mm以上手持豊富ならず強含みの保合である。

角、平鋼 角は相場の表面では大した變化もないが氣持としては強含みとなり。平は民間分野品拂底に硬化を傳へられて居るが市中としては稍行き過ぎの氣味に警戒氣分もある。

型鋼 小型山形は手當薄に手堅く、中型等山は心配されて居た安値物は相當數量が實需筋へ消化されたのも原因して今の處市中には現はれる形跡もなく、受渡の不順調も手傳つて硬化の道程を辿つて居る。大型等山は部分的に品薄なるも伸びず、不等山も其後氣勢昂がらず、溝形は2×4が此邊で落ち付いたのと40×70が8圓と高値を吹いて居る外は盆槍、工形も未だ軟調改まらず、要するに大型物の消化不充分にて賣行不振なのと外注安が此原因と見られて居る。

**鋼板** 16, 23 は浮動気味ではあるが未だ相当高値に留つて居る、32 は聲の割に入荷が尠なかつた爲め踏み留まり先行の入荷如何を眺めて居る、45 は手持薄に耽り、60mm 以上は共販の値上げと西高の噂に強保合と見られて居る。

### 大阪市況

**丸鋼** 春らしい光景は獨り野と山ばかりでない財界の全面に對しても金利安といふ花が漸く笑を含んで満山を賑はさんとして居る際とて丸鋼に對する地方筋よりの需要も弗々擡頭し始め、かなり纏つた注文もある模様にて他方大阪鋼材商會の賣値引上げに端を發して市況は稍硬化し始めたと云はれ殊に鋼材界のパロメーターとも稱すべき丸鋼ベース物の活況は幾分注目に値するものがある

と云はれてゐる。  
要之種々なる人爲策による結果もだいぶん手傳つてゐるのであるからメーカーも需要者も共に今有頂天になつて來るべき不需求期に愚を晒さざる様心掛ければなるまいと取越苦勞をしてゐる筋もある。

### 猫の戀やみたる頃や春臘

**角、平鋼** 角鋼は前旬と變りなけれ共 65, 75mm は 6 圓 30 錢見當にてカツチリ取引されてゐる様子である。平鋼は伸鐵物の荷廻り圓滑ならざるため昨今極度に品掠れを現出し各寸法共に 6 圓以上と強く、50, 65mm は 6 圓 20 錢を唱へられてゐる。

**型物** 奔騰氣勢にありし山形鋼中型等邊物も其後大した實需件はず搗て昨今當所品や日本鋼管品積出の報に早くも氣迷ひ商狀を呈して居る。而し乍ら小型物は不相變品薄で上向き歩調にあり、工形鋼、溝形鋼は外註安に當所品 5 月渡建値は一般に注目され正に入用品も買控氣味に商内は至極閑散と云はれてゐる。

**鋼板** 16, 23, 32mm 共弗々入荷あり、持惱みの態と云はれ 45×4×8 は 7 圓見當にて 6mm 以上は 6 圓 30 錢カツチリ。8mm は 6 圓 50 錢揃みにて引合ある模様である。

**線材** 需要期に入りかたがた製品の荷動きもよく、その上市場在庫薄といふ好材料に恵まれて依然として反騰氣勢を改めず。前旬來相場は 3 圓方の暴騰振りを示してゐる。

**鐵力板** 需要期に入り乍ら相場は相も變らず妙味に乏しく僅かの材料にも神經を尖らせてゐることは既報の通りであるが最近英國 170 lbs もの ¥C. I. F. 15-70 見當にて入荷するとの報に早くも先行を不安視する筋もある。

**ブラッセル通信** 4 月 3 日齋藤囑託發信

市況は引續き手堅く保合ひ居候へ共取引は別段活氣な

く頗る靜穩に御座候

一般氣配は良好にてルクセンブルグ、アルベト(コルメタ)の如き棒鋼 3-18-0 の offer を致居候へ共結局前週の値段通り 3-16-0 より 3-17-0 にて多少取引ありたる由に候

### 販賣旬報 第 160 號 昭和 6 年 5 月 2 日

#### 製鐵所販賣部

**5、6、7 月先物協議會** 八幡から持ち越された、先物協議會を 4 月 20 日當所東京出張所に開く。

最早期日も切迫した事でもあるので 5、6 月積を止めて 5、6、7 月積として賣出し來月からは 2 ヶ月先物を賣出すことにした。

八幡の協議會では市場在庫など考慮に入れて買手側は据置きを希望したが、外注を考へて値下げの已むを得ざる状態とするならば、1 圓下げも 2 圓下げも市場への影響は同じ事故徹底的に外注値段に追従して買へる値段にして欲しいと云ふ希望に變り、猶外注値段も其後大型山形鋼は一段の安値に變つて居るので、希望値段に現はれた様な安値希望もあつたが、徹底した外注防遏の意味ならば其時々々に應じて値段に決定すべきで現状の様な月一回の建値さへ已に無意味な今日の状況ではそうまで下げる必要もないので別項の如く決定した。

前述の如く一般的の外注防遏の效果は今迄の當所の建値方法で充分其趣旨を貫徹し、現況の如く大部分が共販に移つた今日に於ては一つ、一つの注文に就て外注と照合するより外なくなつたので、恒例的の月一回の先物協議會も殆んど無意味のものと化した感あるを以て、撤廢しては如何と製鐵所側より提議があつたが總ては來月に譲ることにして散會した。

#### 5、6、7 月積先物協議會

品種/區分	入電沖着	河岸着値段 (爲替%—3%)	希望	決定	備考
角鋼ベース	4-11-6	65.13	65	65	
平鋼(本所分野)	4-11-6	65.13	65	65	
大型山形鋼	4-8-0	63.44	61	61	
工形鋼	4-4-6	61.74	59	59	
溝形鋼(吋寸法)	4-18-0	63.23	65	66	
〃(耗寸法)	4-6-0	62.47	59	60	

**5、6、7 月積先物賣行概況** (1) 先物として残るは製鐵所の分野で共販に入らない角、平と大型物だけとなつた其内で角平は 5 月積以後 6 ヶ月間、定期契約が成立したので今日の市場の趨勢では未だ此の先物を申込むだけの力もなく、1 腕の申込も見られなかつた。

(2) 問題は大型物である、大型市場の安定の爲め四社協調の下に市場にミートした數量の引受けをしようと、色々努力されたいらしいが各社によつて立場も違ふので中

協調の一致點を見出し兼ね、遂に決裂となつて各社自由に注文を獲得することゝなつた。其結果が別表の通りの申込となつて現はれた。

今迄は3,000吨に足りない定期も重荷となつて、四苦八苦であつたし、4月積も2,800吨の申込しか無いのに今月は一躍9,000吨に近い申込である、締切後でお断りしたものを加へると1萬吨以上となる。

然も市場の有様と云へば他鋼材の活氣あるのに比して大型物だけは極度の賣行不振に沈滞を傳へられて居る。此際に如何に5,6,7の3ヶ月積とは云へ此甚大な數字が出て來た事は要するに四社の亂闘の結果と思はれるが四社の意見としては此數字は勿論ノーブラウで1吨も減らされては困ると頑張る處を見ると何が何だか分からなくなる。

(3) 當所も此數量の調節が反つて外注に走る様な結果となつてはとの考もあつて全部引受に決定した。

5. 6. 7 月積先物賣行概況

品種	區分	申込 吨數	引 受 數 量					計
			1中 形	2中 形	4型 鋼	1大 形	2-3大 形	
等山	}	3,767	—	—	—	—	2,711	2,711
不等山			85	—	—	—	971	
溝形		1,761	—	322	—	849	590	1,761
工形		3,336	—	—	275	—	3,061	3,336
合 計		8,864	85	322	275	849	7,333	8,864

厚板共販組合理事會—5月積申込

月日、場所 4月22日、製鐵所東京出張所

出席者 川崎、淺野、東海、製鐵所

議 事

1) 5月積耳付鋼板の申込數量は次の如し。

東京	大阪	名古屋	計
1,000吨	3,770吨	40吨	4,810吨

以上全數量を引受けすることゝした。

猶定尺、切板に就ては造船材料以外は殆んど申込がなかつた。

2) 下の揚地に對する運賃に就ては今後の引合の分より次の通り申受のことに決定した。

名古屋 1圓 北海道 3圓 50錢

3) 組合の存続問題、販賣方法に就ては5月12日に開催せらるゝ臨時理事會にて協議することゝした。

中型山形鋼共販理事會—5月積賣出し其他

月日、場所、4月21日、於製鐵所東京出張所

出席者、日本鋼管、東海鋼業、製鐵所

5月積賣出し其他に關し協議したる主要事項次の如し

1) 4月積先物の賣行狀況

締切つた4月積の4,228吨の内容が分明したがそれに

よると豫想を裏切つて次の通り不等邊が尠なくやはり不等邊が大部分であつた。一は共販成立による先高豫想が此結果を招來したものであらう、然し共販成立前にあれだけ手當したのによくもこれだけ申込があつたものである。

等邊山形鋼	3,763吨	不等邊山形鋼	465吨	計	4,228吨
-------	--------	--------	------	---	--------

2) 組合指定寸法制定

指定寸法制定に就ては豫て理事者に於て研究中であつたが、大體今迄の製鐵所指定寸法であつたものを組合の指定寸法として今月賣出の分より適用することにした。指定寸法外の寸法は臨時引合として處理しエキストラを附することに決定した。

3) 短尺物の取扱ひ

兎角市場悪化の原因となりたるが短尺物、2級品等の處理に關し組合で統制すべく考慮したが日本鋼管では已に定期の契約が成立して居るので此定期の期限が終る迄東海鋼業と製鐵所とは歩調を一にして善處することゝなつた。

4) 5月積賣出

a) 數量

市場の趨勢、メーカーの能力等を考慮して次の數量を賣出した、猶5月積と云ふて一部の荷渡は都合により6月に入ることもあるべしと云ふ條件である。

各所社製品合計

等邊山形鋼	3,500吨	不等邊山形鋼	500吨	計	4,000吨
-------	--------	--------	------	---	--------

b) 締切發表

締切4月27日正午、割當發表4月29日

c) 値 段

外注値段とは未だ大部開きがあり市場は堅實な歩調で進んで居るので是等の情勢を加味して前月より1圓上げの下記値段に決定した。猶不等邊は今月は等邊より1圓高となつた。

次 記

等邊山形鋼 58圓 不等邊山形鋼 59圓

a) 代金支拂方法

買手側より豫ての希望もあり支拂方法は次の通り前回に比し緩和したるものとなつた。

1日より10日迄の	現品積出は	20日迄	に現金拂込のこと
11日より20日迄の	〃	月末迄	
21日より月末迄の	〃	翌月10日迄	

b) 先物以外の臨時引合に對する賣出値段、揚地別各社別割當方法其他の條件等は總て前回通りとす。



中型山形鋼共販組合理事會—5月積先物締切發

表— 中型山形鋼共販組合は5月積先物締切發表を行ふ爲、去る4月28日製鐵所に於て理事會を開いたが其の結果は賣出噸數4,000噸に對し申込僅かに1,500噸に過ぎず、成績甚だ芳しからざるものがあつたが4月積を賣出して間もないことではあり、前月より1圓高にかけて、加へて既契約品を豊富に抱えてゐる市場として買氣の無いのは當然過ぎる位當然で、組合の活動は寧ろ今後に期待するの外なからう。

申込數量は次表の通り。

	等邊	不等邊	合計
東京揚	630噸	20噸	650噸
大阪揚	658	110	768
名古屋揚	35	—	35
合計	1,323	130	1,453

引受並に各社割當次の如し。

製鐵所 573噸 鋼管 680噸 東海 200噸 計 1,453噸

黒板共販組合理事會—厚物5月積締切發表—

4月20日神戸川崎製鐵工場にて厚物5月積締切理事會を開催、次の通り引受割當を了した。

申込數量

	C(3.4) 級(5枚)	B(6.7.8.) 級(9枚)	A(10.11.) 級(12枚)	計
川崎	399.5噸	260.5噸	2,008噸	2,668噸
製鐵	—	120.0	320	440
中山	—	5.0	—	5
徳山	560.0	559.0	865	1,984
日鋼	308.0	190.0	594	1,092
計	1,267.5	1,134.5	3,787	6,189

即ち賣出噸數 5,970 噸に對し計 6,189 噸の申込を受けたが各社適宜配して次の如く引受けることになった。

	C 級	B 級	A 級	計
川崎	399.5噸	260.5噸	2,008噸	2,668噸
製鐵	—	115.0	320	435
中山	560.0	474.0	600	1,634
日鋼	263.0	190.0	399	852
計	1,222.5	1,039.5	3,327	5,589

東西市況—頭打ち 前旬までは荷動きも相當見られて市場は稍活氣付いて居たが、どうやら此邊で材料も出盡しとあつて、警戒氣分となり、市中の取引は一寸閑散となつた模様である地方筋はまだ餘喘を保つて居るとは云ふものゝ大した事もなく、總體から見て天井打ちの形と云はれて居る。

東京市況

丸鋼 6mmは淺野小倉や伸鐵物の僅少の入荷を傳へて反落となり、9mmは先行觀から未だ不人氣を改めず、12mmのみは品薄に駈り、ベース物賣行不振が祟つて不安となり腰折れ氣味となつた。50mm以上落付き。

角、平鋼 角は其まゝ落付きとなつて動かず、平は現在相當の値頃で有が先行は稍不安を傳へられて居る。

型鋼 中型等山は荷渡しの不順調から踏み留つて居

るが安値物の入荷を勘定して賣買共殆んどなく警戒氣味となつた。不等山9mm×130mmは殆んど品切れてあるが突飛な高値を呼ぶだけの勇氣もなく共販分野不等山は共販値上げに聊か強調となつたが其他の大型物は不等山、溝、工共不相變極度に賣行が無い爲め一向に冴えず、只溝形だけは手當薄と消化に連れて先行を樂しまれて居る位のものであるが今月の當所先物8,000余噸を耳に挾んでは嫌喜びとなるかしらと案じられて居る。

鋼板 1.6mmから3.2mm迄は契約數量と未だ見ぬ入荷の聲に脅えて一段安を現出して居る、4.5mmだけは約定もあまりなくシャーのものも追々と消える模様なので駈り、6.0mm以上は共販値上げも反撥の力とならず現狀維持のまゝ推移して居る。

大阪市況

丸鋼「鋼材界の景氣は丸鋼から」と云はれてゐるがその丸鋼にも完全に春は訪れたことは既報の通りであるが前旬に引續き漸騰歩調にあり殊に12mmなど荷廻り圓滑ならず6圓30錢と目立つて取引されてゐる。

角、平鋼 角鋼は不變。平鋼は民間寸法と云ひ當所寸法と云ひ極度の品掠れに皆無といつてもよい状態にあり各寸法を通じて6圓10錢以下の賣物は更になく伸鐵ものゝ出廻りも少き折柄當分は尙強調裡に推移するものと見られてゐる。

型鋼 山形鋼5月渡し共販の値段も外註安の爲め存外に安く茲許頭打ちの弱持合にて思惑的に買った中型等邊も寸法未提出の儘にて契約されつゝあると云はれてゐる。工形鋼、溝形鋼共當所5月渡建値の2.3圓安に脅えて溝形も67圓乃至67圓50錢と原價以下の賣物も弗々現はれ型物界も又々受難期に入るのではないかと氣遣はれてゐる。

鋼板 一時反落を見た中板も入荷一順處分濟に又々引返しを見せ3.2×4×8は8圓20錢、 $\frac{1}{8}$ "×3×6、4×8、5×10は7圓20錢を稱へられてゐる。

線材 とかく商賣は宣傳の世の中だと云はれてゐるが、これはまた昨今のロッド相場に鑑み色々な逆宣傳をしてゐるものがあるとの事であるが市場は需要期品掠れ、製品界の活況等の好材料に恵まれてつまらぬ悪宣傳には耳をかきさるものゝ如く相も變らず商内は相當ある模様である。

撒き散らす宣傳ピラや春の風

鉄力板「露は尾花と寝たといふ、尾花は露と寝ぬといふ、尾花に穂が出て現はれた」實に意味深長の端唄であるが昨今の鉄力板相場も一步上向くかに見えてそうでもないといつた頗る頼りない歩調を辿り全く猫眼的商狀を繰返してゐる。



線材、薄板、鋳力板、輸入速報集録

區分 品名	4 月 中 旬				4 月 下 旬				4 月 上 旬			
	神戶	大阪	橫濱	計	神戶	大阪	橫濱	計	神戶	大阪	橫濱	計
	自4月10日 至4月18日	自4月10日 至4月18日	自4月8日 至4月17日	計	自4月19日 至4月27日	自4月19日 至4月27日	自4月18日 至4月27日	計	自 月 日 至 月 日	自 月 日 至 月 日	自 月 日 至 月 日	計
B.W.G.No.5	150	102	153	405	418	203	29	650				
其他	51	—	—	51	538	102	3	643				
計	201	102	153	456	956	305	32	1,293				
上中旬計	1,039	303	254	1,596	4月計 1,995	608	286	2,889				
薄板0.7mm	—	123	—	123	39	211	—	250				
以下	—	—	—	—	—	—	—	—				
上中旬計	125	358	—	483	4月計 164	569	—	733				
鋳力板	330	45	916	1,341	135	—	697	832				
上中旬計	651	167	1,196	2,014	4月計 786	167	1,893	2,846				

東京 大阪 市中相場 (單位圓)

寸 法	4 月中旬		4 月下旬		5 月上旬	
	京東 4月 17日	大阪 4月 15日	東京 4月 27日	大阪 4月 25日	東京 5月 日	大阪 5月 日
<b>丸 鋼</b>						
6mm	8.50	8.20	8.30	8.10		
9	5.90	5.95	5.90	6.05		
12	6.30	6.00	6.20	6.30		
19	5.95	"	5.90	6.10		
25	"	5.90	"	6.00		
50	6.10	6.30	6.10	6.35		
65	6.20	6.40	6.20	6.35		
<b>角 鋼</b>						
9mm	6.40	6.20	6.45	6.25		
12	6.30	"	6.30	6.30		
15	6.10	6.10	6.10	6.00		
19	"	6.00	"	"		
38	"	"	"	6.10		
<b>平 鋼</b>						
1/4" x 1 1/2"	6.00	6.10	6.10	6.10		
1/4" x 2"	5.90	"	5.90	"		
1/4" x 3"	6.00	6.20	6.00	6.20		
3/8" x 4"	6.20	6.30	6.20	"		
1/2" x 4"	"	6.40	"	"		
<b>等邊山形鋼</b>						
mm mm mm						
6 x 50 x 50	5.90	5.90	5.90	5.90		
6 x 65 x 65	6.00	6.00	"	6.10		
9 x 75 x 75	6.10	5.90	6.10	5.95		
9 x 130 x 130	6.80	6.70	6.90	7.00		
12 x 130 x 130	6.90	"	"	"		
15 x 150 x 150	6.70	"	6.70	6.80		
<b>不等邊山形鋼</b>						
3/8" x 2" x 3"	6.50	6.40	6.50	6.40		
3/8" x 3 x 4"	5.95	6.00	5.95	6.00		
3/8" x 3 1/2 x 5"	6.00	5.85	6.00	5.90		
3/8" x 4 x 6"	6.70	6.70	6.70	6.80		
1/2" x 4 x 6"	6.75	6.70	"	"		

寸 法	4 月中旬		4 月下旬		5 月上旬	
	東京 4月 17日	大阪 4月 15日	東京 4月 27日	大阪 4月 25日	東京 5月 日	大阪 5月 日
<b>溝 形 鋼</b>						
1/4" x 2" x 4"	6.50	6.50	6.50	6.70		
0.312 x 2 1/2 x 5"	6.90	6.70	6.90	6.85		
3/8" x 3 x 6"	6.65	6.80	6.60	6.75		
3/8" x 3 x 8"	6.60	6.50	"	6.60		
3/8" x 3 1/2 x 10"	6.70	6.70	6.70	6.75		
3/8" x 3 1/2 x 12"	"	6.80	"	6.80		
<b>工 形 鋼</b>						
1/4" x 3" x 6"	6.50	6.70	6.50	6.60		
3/8" x 6 x 12"	6.80	"	6.80	6.80		
0.28 x 4 x 8"	6.50	6.60	6.50	6.60		
0.35 x 5 x 12"	6.95	7.30	6.90	7.80		
0.36 x 5 x 10"	6.80	7.50	6.70	7.00		
<b>鋼 板</b>						
1.6m n x 3' x 6'	8.70	9.00	8.60	9.30		
1.6 x 4 x 8	8.60	9.10	8.50	9.10		
3.2 x 4 x 8	8.50	8.00	8.10	8.20		
3.2 x 5 x 10	"	"	"	"		
6.0 x 4 x 8	6.45	6.30	6.40	6.40		
6.0 x 5 x 10	"	"	"	"		
9.0 x 4 x 8	"	6.20	"	"		
9.0 x 5 x 10	"	"	"	"		
<b>薄鋼板(13枚)</b>						
米	60	61	58	60		
英	59	60	57	59		
八 幡	59	59.5	57	58.5		
<b>鋳 力 板</b>						
米	{170	19.20	19.30	19.00	18.90	
	{100	10.90	10.00	10.90	10.00	
英	{170	17.00	17.00	17.00	16.50	
	{100	8.80	9.00	9.00	8.70	
八 幡	{170	17.00	17.20	17.00	16.70	
	{100	8.80	8.85	9.00	8.70	
<b>線 材</b>						
No. 5	80.00	81.00	80.00	78.00		

備考 單位 100kg につき (置場値段)、但し薄板は 1 枚當り。線材は 1 噸當り。鋳力板は一箱當り。

昭和6年3月中棒鋼寸法別揚地別引渡高表

(單位噸)

區分 寸法	丸 鋼					合計			
	民間向普通鋼			規格品及特殊鋼					
	阪揚	神揚	京濱 其他	計	其他				
7mm	—	10	—	10	—	10			
8	75	10	—	85	—	85			
9	680	1,481	11	2,172	—	2,172			
10	10	—	—	10	—	10			
11	54	—	—	54	—	54			
12	269	225	7	501	—	501			
13	—	—	5	5	—	5			
16	—	—	3	3	—	3			
18	—	—	2	2	—	2			
19	—	—	98	98	—	98			
20	—	—	1	1	—	1			
22	—	—	45	45	—	45			
25	—	—	6	6	—	6			
32	—	—	13	13	—	13			
40	—	7	1	8	—	8			
42	—	—	3	3	—	3			
44	—	—	3	3	—	3			
50	—	42	29	71	—	71			
55	10	6	5	21	—	21			
60	82	15	—	97	—	97			
65	15	11	9	35	—	35			
70	—	15	6	21	—	21			
75	33	30	3	66	—	66			
80	14	10	4	28	—	28			
90	33	37	8	83	—	83			
95	31	20	13	64	1	65			
105	2	—	1	3	—	3			
110	1	—	—	1	—	1			
115	3	—	—	3	—	3			
120	5	—	—	5	—	5			
125	—	—	4	4	—	4			
130	3	—	14	17	—	17			
140	6	—	—	6	—	6			
150	11	—	7	18	—	18			
155	—	—	—	—	2	2			
160	11	—	—	11	4	15			
165	—	—	—	—	1	1			
170	—	—	3	3	—	3			
180	2	—	6	8	—	8			
200	—	—	5	5	—	5			
丸鋼計	1,355	1,919	315	3,589	4	5	7	16	3,605

區分 寸法	角 鋼					合計			
	民間向普通鋼			規格品及特殊鋼					
	阪揚	神揚	京濱 其他	計	其他				
12mm	30	65	16	111	—	111			
16	60	25	6	91	—	91			
19	—	10	—	10	—	10			
22	9	5	—	14	—	14			
25	—	5	2	7	—	7			
28	28	—	16	44	—	44			
32	45	20	—	65	—	65			
38	40	49	4	93	—	93			
44	50	55	1	105	—	105			
50	35	15	3	53	—	53			
60	—	—	6	6	—	6			
65	5	5	2	12	—	12			
75	25	—	—	25	—	25			
90	—	5	—	5	—	5			
100	—	5	—	5	—	5			
角鋼計	327	264	56	647	—	—	—	—	647
平 鋼									
12mm	—	—	2	2	—	—	—	—	2
19	50	11	5	66	—	—	—	—	66
22	50	2	5	57	—	—	—	—	57
25	5	102	20	127	—	—	—	—	127
32	110	55	21	186	—	—	—	—	186
38	121	78	2	201	—	—	—	—	201
44	51	25	10	86	—	—	—	—	86
50	153	97	72	322	—	—	4	4	326
55	17	13	—	30	—	—	—	—	30
65	221	46	33	300	—	—	—	—	300
75	98	128	25	251	—	—	—	—	251
90	93	161	22	276	—	—	—	—	276
100	17	40	1	58	—	—	—	—	58
125	29	33	5	72	—	—	—	—	72
平鋼計	1,015	796	223	2,034	—	—	4	4	2,038
棒 鋼 總 計	2,697	2,979	594	6,270	4	5	11	20	6,290

昭和6年3月中 神戸、大阪、横濱三港輸入鋼材品種寸法別數量表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		<b>角鋼</b>		<b>型鋼の部</b>		16	12	<b>線材の部</b>		<b>其他の鋼材の部</b>	
丸鋼		3/16"	7	等邊山形鋼		17	1	線材		特殊鋼	
1/8"	1	1/4"	10	mm mm		19	5	5mm	685	丸角鋼	103
3/16"	40	5/16"	13	100×100	3	21	2	B.W.G.No.		鋼鋼板	14
1/4"	49	7/16"	1	計	3	others	22	6	101	鋼板	33
5/16"	7	1/2"	3	不等邊山形鋼		計	434	5	3,543	其他	11
3/8"	6	3/8"	1	mm mm		(鋼板0.7mm以下)		3	147	計	163
7/16"	4	1/2"	1	120×270	5	6 sheets	10	2	20	外輪及車軸	
1/2"	5	1 1/4"	12	計	5	7	15	1	17	計	37
9/16"	3	1 1/2"	10	溝形鋼		8	19	0	26		
5/8"	5	1 3/4"	4	(造船材料)		9	29	<b>鋼管の部</b>			
1 1/16"	3	2	1	3"×3 1/2"	2	10	10	鋼管			
3/4"	15	3	1	計	2	11	15	3/8"	9		
5/8"	5	4 1/2"	1	工形鋼		12	20	1/2"	48		
1 1/8"	3	5	1	8"×5"	15	13	234	3/4"	83		
1 1/4"	26	5 1/2"	1	10×5	21	計	1,689	1	27		
1 3/8"	3	平鋼	81	12×5	15	B.W.G.No.		1 1/4"	13		
1 1/2"	14	3/8"	5	24×12	2	23	3	1 1/2"	24		
1 3/4"	11	5/8"	3	計	53	26	18	2	5		
2	15	3/4"	17	バイリン		28	8	2 1/2"	1		
2 1/4"	15	7/8"	16	グシート		30	1,082	3	19	其他鋼材合計	200
2 1/2"	21	1	14	計	1,314	30 1/2	226	3 1/4"	5		
2 3/4"	2	1 1/4"	2	型鋼計	1,377	計	1,889	3 1/2"	28		
3	10	1 1/2"	3	條鋼計	2,298	電氣鋼板		4	12	鋼材總計	11,491
3 1/8"	20	1 3/4"	12	鋼板の部		0.014"	51	4 1/4"	1		
3 1/4"	3	2	16	鋼板(0.7mm超)		0.035mm	10	5	15	シート	3,857
3 1/2"	4	2 1/8"	5	1/32"	3	0.043	10	6	1	バルーム	6
4	1	2 1/4"	2	1/16"	114	0.07	1	7	1	フェロクロム其他	16
4 1/16"	16	2 3/8"	2	3/32"	39	計	82	5mm	1	ケツクス	15
4 1/4"	20	2 1/2"	5	1/8"	42	鈹力板		66	1	テール	
4 1/2"	44	3	3	5/32"	3	100 lbs	101	76	1		
5	22	3 1/4"	3	1mm	1	30 sheets	2	342	9		
6	21	3 1/2"	14	1.6	18	40	2	364	8		
7"	20	4	4	1.88	10	50	5	431	40		
1.6mm	3	4 1/2"	3	2	1	60	12	894	1		
2.4	5	5	11	19	4	70	12	Pipe fitting	11		
6	10	5 1/2"	7	9	1	80	12				
19	1	計	168	計	1,885	90	3				
33	21	六角鋼	36	鋼板計	4,090	100	13				
計	516	其他の棒鋼	16	鋼板合計	4,090	oil sige	824				
造船材料		計	16	鋼管計	364	others	762				
2 7/32"	34	棒鋼計	921			計	1,885				
2 7/8"	70					鋼板計	4,090				
計	104					鋼管計	364				
計	620										

昭和6年3月中當所品種寸法別生産高 (其の一) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
<b>棒鋼の部</b>		102	21	6×3½	72	35	3	65	18	10	176
		2½"	14	7×3	294	4	52	66	24	11	155
<b>丸鋼</b>		3	59	7×3½	68	4.5	314	68	1	12	1,238
		3½	21	8×2½	130	5	29	70	2	14	100
6mm	13	計	230	8×3	46	5.08	33	72	1	15	87
9	2,596	<b>棒鋼計 8.563</b>		8×3½	141	5.5	7	1¼"	3	16	332
12	278	<b>型鋼の部</b>		<b>工形鋼</b>		6	149	⅝	5	19	731
13	194	<b>等邊山形鋼</b>		150×125	86	6.35	162	⅞	11	22	41
16	216	25mm	7	400×150	1,160	6.5	1	1⅞	10	25	52
18	60	35	24	14"×6"	477	7	44	2⅜	5	28	3
19	529	40	133	計	1,723	7.11	14	3⅞	26	計	5,476
21	52	45	252	<b>Z形鋼</b>		7.62	116	1⅞	6	<b>耳付綑鋼板</b>	
22	1,049	50	413	mm mm mm		8	241	1⅞	6	4.5mm	25
24	6	65	803	70×50×40	11	8.13	36	1⅞	2	6	4
25	345	70	8	100×70×60	35	8.64	44	B.W.G.No.		8	1
28	268	75	832	130×80×70	30	9	143	8	7	9	2
32	129	100	597	150×85×75	17	9.14	45	9	10	12	6
34	16	130	1,366	計	93	9.65	16	11	3	計	33
41	24	150	2,162	<b>型鋼計 13,114</b>		10	222	計	7,830	<b>二級鋼板</b>	
50	183	計	6,588	<b>條鋼計 21,677</b>		10.2	75	<b>電氣鐵板</b>		1mm	9
55	92	<b>不等邊山形鋼</b>		<b>鋼板の部</b>		11	14	0.35mm	474	1.2	1
65	125	mm mm		<b>鋼板(0.7mm以下)</b>		12	641	0.43	57	1.6	11
75	46	50×35	12	0.5mm	25	13	51	計	531	2.3	14
80	17	65×50	48	sheets		14	124	<b>ユニバーサル平鋼</b>		3.2	4
90	94	75×65	120	7	35	15	47	6.2"	210	4.5	1
95	56	80×60	27	13	950	16	297	6.8	374	計	40
100	1	90×75	165	B.W.G.No.		17	5	9	4	<b>疵物鋼板</b>	
計	6,389	100×75	912	23	268	18	181	計	588	1mm	6
<b>角鋼</b>		4½"×3"	51	30	2,132	19	306	<b>鐵力板</b>		1.6	10
38mm	31	5×4	64	計	3,410	20	127	B.W.G.No.		2.3	13
44	98	7×3½	15	<b>鋼板(0.7mm超)</b>		21	2	29	413	3.2	7
45	4	計	1,414	1mm	230	22	125	30	862	4	1
50	71	<b>球山形鋼</b>		1.2	59	25	36	31	331	4.5	19
65	69	150×75	93	1.4	30	26	36	33	612	6	1
130	20	180×75	15	1.5	3	36	45	95 lbs	93	7	1
150	20	200×75	11	1.6	1,149	32"	2	計	2,361	8	19
計	313	5½"×3"	10	1.8	25	34	6	<b>綑鋼板</b>		9	76
<b>平鋼</b>		8×3½	67	1.85	15	36	65	3.2mm	5	10	1.0
25mm	6	9×3½	75	1.9	3	38	49	4.5	94	11	26
32	64	計	271	2	76	40	15	5	5	12	93
38	29	<b>溝形鋼</b>		2.1	1	41	14	6	157	13	24
44	25	mm mm		2.3	1,522	42	36	8	1	14	6
50	77	75×40	563	2.4	7	44	32	9	17	15	35
65	48	100×50	94	2.5	35	46	50	計	279	16	58
70	18	150×75	75	2.9	16	48	14	<b>耳付鋼板</b>		17	1
75	525	300×90	5	3.0	6	50	62	4.5mm	1,077	18	2
90	394	計	1,631	3.2	243	52	21	5.5	173	19	37
100	353	380×100	646	<b>鋼板(0.7mm超)</b>		53	2	6	350	20	2
125	6	5"×2½"	390	1mm	230	54	12	7	72	21	2
147	83	6×2½	189	1.2	59	56	15	計	2,361	22	13
計	1,631	6×3	312	1.4	30	57	80	<b>綑鋼板</b>		25	7
<b>帶鋼</b>		計	271	1.5	3	58	1	3.2mm	5	計	579
30mm	7	<b>球山形鋼</b>		1.6	1,149	60	15	4.5	94	<b>鋼板計 22,132</b>	
55	8	mm mm		1.8	25	62	62	5	5		
92	77	75×40	563	1.85	15	64	1	6	157		
95	23	100×50	94	1.9	3			7	72		
		150×75	75	2	76			8	441		
		300×90	5	2.1	1			9	398		

昭和6年3月中當所品種寸法別生産高 (其ノ二) (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
軌條及附屬品の部		其他附屬品		其他鋼材の部		鐵 鐵		鋼 塊		シートバー	
軌 條		S. P	2	鍛 成 品		本 所	27,742	普通鋼塊	72,144	内 部 向	10,805
9 <sup>K</sup>	134	計	2	電氣爐鋼	29	戸 畑	10,922	電 氣 塊	964	外 部 向	2,795
30	6,591	軌附計	7,035	普 通 鋼	19	洞 岡	15,742	坩 埚 鋼	17	計	13,600
45	121	線材及製釘材の部		其 他				鑄造鋼塊	503		
計	6,846	線 材		外 輪	260	計	54,406	計	73,628		
繼 目 板		5.5mm	6,043	車 軸	81	合 金 鐵		鋼 片			
6 <sup>K</sup> 用	37	計	6,043	鋼 軸	27	フエロシ	27	内 部 向	41,735		
9	28	製 釘 材		リベット	50	リ コ ン		外 部 向	5,015		
計	65	5.5mm	2,652	不 定 尺 板	18	計	27	計	46,750		
スパイキ		計	2,652	不 耳 付 板	53						
計	85	線材及製釘材計	8,695	計	489						
ト ラ ッ ク		其他鋼材計	537	其他鋼材計	537						
ボールナット		鋼材總計	60,076	鋼材總計	60,076						
計	37										

昭和6年2月中民間棒鋼生産高表 (單位噸)

寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數	寸法	噸數
丸 鋼		32	751	70	9	角 鋼		平 鋼		115	2
6mm	247	35	23	75	15	9mm	3	19mm	302	125	393
8	249	36	52	76	19	12	57	22	131	127	11
9	3,160	38	241	80	6	16	401	25	235	其他	24
10	3	40	3	83	416	19	87	32	179	計	2,300
11	7	41	13	85	4	22	26	33	126		
12	3,515	42	17	90	318	25	28	44	78		
13	10	44	156	95	203	28	7	45	59		
14	5	48	31	100	3	32	13	48	1		
16	2,911	50	346	102	10	38	16	50	367		
17	10	51	7	115	149	50	18	51	5		
19	2,544	55	71	125	20	60	15	63	1		
22	2,320	57	18	140	123	65	32	65	162		
25	2,611	60	80	其他	281	75	70	75	70		
28	166	63	27	計	21,219	計	773	90	134		
29	13	65	36					100	100	總 計	24,372